

教育情報誌

まなびの風



船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730

船橋市の特別支援教育

船橋市の特別支援教育は、昭和30年に船橋小学校特殊学級が開設されたことから始まりました。

また、学習指導要領においては、共生社会の形成に向けて、インクルーシブ教育システム構築に向けて、すべての学校で特別支援教育をいっそう推進していくことが示されています。

インクルーシブ教育システムとは

人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みです。

(文部科学省のHPより)



第60回船橋市特別支援教育推進大会

【テーマ】
認め合い、共に生きる社会のために

【行事一覧】

- ・教育講演会
- ・合同作品展、ふなっ子バザール
- ・合同発表会

※詳細は船橋市総合教育センター特別支援教育班担当へご確認ください。
(047-422-9236)

障害のある子供たちとその教育の理解を図るために、特別支援学級と特別支援学校が合同で発表会、作品展を開催しています。また、教育講演会では、講師を招いて特別支援教育に関わる講演を行い、特別支援教育の理解啓発を図っています。



合同発表会の様子



合同発表会に向けて作製した作品



船橋特別支援学校で企業説明会が行われました

令和6年11月22日(金)に船橋特別支援学校高等部で、「企業説明会」を実施しました。

生徒は当日までに、事前学習を行い「産業現場等における実習」の経験や、実習報告会での仲間の発表内容から、関心のある職種について調べたり、企業への質問を考えたりして準備をしました。当日は、企業の方から仕事の内容や勤務の時間、どのような業種に興味を持っているのかなどの具体的な話がありました。



家庭での教育やしつけのこと、子供の学校生活や家族関係のことなどの家庭教育相談を受け付けています。
○電話相談 ☎ 047-436-2897(青少年課) 月曜日から金曜日 午前9時から午後4時30分まで
○面接相談 月2回実施(要予約) 公民館等で実施

船橋市の英語教育

未来を拓く船橋市の小学校英語教育 ～グローバル人材の基盤づくり～



船橋市では、平成20年度に文部科学省の教育課程特例校の指定を受け、小学校教育における先駆的な取組を進めています。その一環として、小学校1・2年生を対象に週1回20分の「英語科」授業を実施しており、市が掲げる「船橋の教育2020」の理念に基づいてグローバル社会で活躍できる人材育成を目指しています。子供たちが楽しみながら英語に親しみ、自然な形で言語や異文化への興味を深められるよう工夫された授業が展開されています。例えば、簡単な英語表現や日常会話に親しむ活動や、歌やゲームを通じた英語リズムの体験など、多彩な内容が含まれています。

また、日本と外国の生活や文化の違いを学ぶことで、異文化理解も促進しています。学級担任や英語専科教員とALT（外国語指導助手）がティーム・ティーチングで指導を行い、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、柔軟な思考力やコミュニケーション力の育成に励んでいます。船橋市のこの取組は、幼少期からの英語教育が将来の学びの基盤となり、国際的な視野を持った次世代を担う子供たちを育てる大きな一歩となっています。



折り紙の折り方を英語で伝えている様子



アクティビティー活動中の様子



授業の終わりは英語でジャンケン

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

《中学校》英語 ※全国、千葉県、船橋市、共に令和6年度は国語・算数・数学の2教科実施

右の表は令和5年度に実施した中学校英語科における全国学力・学習状況調査の結果です（船橋市のホームページより）。**船橋市としては、すべての点において全国・県の平均正答率を上回っています。**引き続き活用できる技能を身につけるため、言語活動を取り入れていきます。

		英語	船橋市	千葉県	全国	全国との差	
平均正答率（％）	全体		50.0	46.0	45.6	4.4	
	学校指導要領の領域	(1) 聞くこと		63.9	59.4	58.4	5.5
		(2) 読むこと		55.4	51.1	51.2	4.2
		(3) 話すこと [やり取り]				14.5	
		(4) 話すこと [発表]				5.3	
		(5) 書くこと		27.1	23.3	23.4	3.7
	評価の観点	知識・技能		56.7	51.8	51.5	5.2
		思考・判断・表現		42.6	39.1	38.8	3.8
		主体的に学習に取り組む態度					
	問題形式	選択式		59.6	55.2	54.8	4.8
短答式			35.5	30.0	30.1	5.4	
記述式			14.5	13.3	13.5	1.0	

※斜線は該当する設問が無いもの。

※「話すこと」調査の値は参考値のため、全国・千葉県・船橋ともに全体の平均正答率には含まれない。また、文部科学省より全国の平均正答率のみ公表となっている。

□ 平均正答率が全国、千葉県共に上回ったもの

第48回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会

第48回関東甲信地区中学校英語教育研究協議会の千葉大会が行われ、船橋市では坪井中学校が会場校となり、授業公開と研究協議を行いました。ICT（端末）を効果的に活用し、協働的な学習を通して発信力を高めるための指導法を探り、英語教育の改善・充実を図りました。



船橋市の防災教育

船橋市では、防災教育や起震車による地震の体験学習等を通じて、防災知識の普及・啓発活動を推進しています。

学校における防災教育のねらいは3つあります。この3つのねらいの意識を高めるために学習を行っています。

- ①災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、状況に応じて、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができるようにする。
- ②災害発生時及び事後に、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができるようにする。
- ③自然災害の発生メカニズムをはじめとして、地域の自然環境、災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解できるようにする。



落ち着いて避難することの大切さを確認



起震車による巨大地震の揺れを体験



火災による煙発生時の状況を体験



4階から救助袋の体験

船橋市の安全教育

船橋市は、警察署をはじめとする関係機関と連携し、小学校においては、正しい道路の横断の仕方、信号機の見方、自転車の安全な乗り方など日常生活に必要な実技指導を行っています。また、中学校においては、スタントマンによる交通事故再現を取り入れたスケアード・ストレイト自転車交通安全教室を実施し、交通安全の呼びかけ、交通事故防止を図っています。

小学校

◎歩行交通安全教室

基本的な交通ルールを知り、安全で正しい道路の横断の仕方を学習します。



道路を渡るときについての注意事項の確認

◎自転車交通安全教室

標識の説明及び自転車の操作や安全で正しい道路の走行方法などを学習します。



上記の学んだことをもとにして、実際に自転車に乗っている様子

中学校

◎スケアード・ストレイト自転車交通安全教室

スタントマンによるリアルな事故の再現を取り入れ、正しい交通ルールを身に付けることで、自転車の交通事故防止に役立ちます。



スクールガード・リーダー事業

船橋市では、文部科学省「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」に伴う「地域学校安全」指導員として、平成17年度からスクールガード・リーダー事業を実施しています。本事業は、子供たちが一層安全で安心して生活することができる楽しい学校づくりを目指し、学校や地域の安全性を高めることを目的としています。

スクールガード・リーダーとは…

船橋市では、教育委員会から委嘱された教職員OBが、防犯知識を活かした学校への巡回活動の指導・助言を実施しています。

今年度12名の方がスクールガード・リーダーとして活動し、学校及び通学区域を定期的に巡回し、スクールガードの方や学校に、不審者情報の提供などを行っています。また、月1回スクールガード・リーダーが集まり、研修や情報交換を行い、防犯対策を確認しています。



スクールガード・リーダーの南雲さん
通学区域の危険箇所などを巡回します

南雲さんは事業開始当初からスクールガード・リーダーを務めています。今年度は小学校5校、中学校3校を担当し、「子供と関われることと、担当区域から不審者が出ず子供が笑顔で登下校している姿を見るのがやりがいです。」と話していました。

令和6年度 文部科学大臣 優秀教職員 表彰受賞者

全国の国公立学校の教職員組織で、学校教育における教育実践等に顕著な成果を挙げたとして、文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞された方々を紹介します。今年度、船橋市からは3名が受賞されました。



【教科指導の推進:美術科】
飯山満中学校
教諭 大浜 美樹



【特別支援教育の推進】
三咲小学校
教諭 矢作 祐二



【教科指導の推進:家庭科】
田喜野井小学校
教諭 及川 英里子

わが校の給食自慢レシピ 高根台中学校編



高根台中学校 栄養教諭 岸本 美登里

『たわらの旨煮』

材料 (4人分)

油揚げ	4枚
木綿豆腐	100g
豚ひき肉	70g
ごぼう(さがぎ)	1/4本(40g)
にんじん(粗みじん)	1/6本(20g)
生姜(おろし汁)	1/2かけ分
冷凍枝豆(ゆでる)	小さじ1(6g)
砂糖	小さじ1と1/2(5g)
しょうゆ	小さじ1(6g)
かたくり粉	小さじ2(6g)
楊枝	4本
砂糖	大さじ2(18g)
しょうゆ	大さじ1(18g)
みりん	大さじ1/2(7.5g)
水	50cc
水溶きかたくり粉	適宜



作り方

- 油揚げは油抜きし、横長になるようにおき、2/3のところまで縦に切り、中に具が詰められるよう、袋状に開く。1/3の方は短冊に切り、汁物に使用する。
- 豆腐は押しして水分を抜いた後、くずし、Aを加え、よく混ぜ合わせる。
- 一辺を開いた油揚げに2を詰め、楊枝で閉じる。
- Bを火にかけ、3を入れ、落とし蓋をして煮含める。
- 油揚げを取り出し楊枝をはずして盛りつける。
- 残った調味液を火にかけ(好みで水溶きかたくり粉でとろみをつける)、5にかける。

レシピ紹介

油揚げに具を詰めた様子が米俵(こめだわら)に似ている事が名前の由来です。口の中で、じゅわっと煮汁が広がる、やさしい味一品です。

豆腐や油揚げ等の豆腐の加工品は、優れた栄養価で知られる日本の伝統食品です。豊富なたんぱく質をはじめ、骨や歯の形成に欠かせないカルシウムなど、健康を保つのに役立つ多くの栄養素を含んでおり、成長期の児童生徒にも積極的に食べてほしい食品のひとつです。